

プロジェクト課題活動実績

課題名：美祢市の地域・農業を支える集落営農法人の育成

美祢農林事務所農業部 ◎北村真一郎、山本卓生、○平山 寛、○高橋美智子、
○藤山昌三、穂吉和枝、杉富士子、塩田幸恵

<活動事例の要旨>

集落営農法人の設立に向けた話し合い活動の推進と美祢地域集落農業法人協議会の活動強化及びモデル法人の育成により、1地域の次年度法人設立と3地区において法人連携活動項目や生産4品目の低収量要因を導き出し、さらなる連携強化と経営安定を支援することとした。

1 普及活動の課題・目標

美祢地域では「限られた人材を活かせる営農体制の早期整備」、「法人収益の改善に向けた短期及び中長期の対応」を重点課題として捉え、解決に向けた取組を進めた。

これらの課題解決には、一体的かつ迅速な対応が求められることから「徹底した話し合いによる自立の加速化」をキーワードに集落営農法人の育成を進めるとともに、法人連携の強化が図られるよう地域法人協議会活動を支援した。

2 普及活動の内容

- ① 集落営農法人の設立に向けた話し合い活動の推進
- ② 美祢地域集落農業法人協議会の活動強化
- ③ モデル法人の育成

3 普及活動の成果

- ① 集落営農法人の設立に向けた話し合い活動の推進
法人化を志向する組織や集落の状況等を把握し、法人化推進候補の4集落をリストアップした。また、法人化を検討する意向のある集落では、法人運営に係る勉強会の開催を支援し、平成28年度中の法人設立を目指すことになった。
- ② 美祢地域集落農業法人協議会の活動強化
3地区でそれぞれ意見交換会を開催し、美祢地区では「学校給食向野菜の連携栽培」、秋芳地区では「野菜定植機の共同導入」、美東地区では「農地基本台帳の作成」等の法人連携に係る具体的な動きを導き出した。
栽培品目ははだか麦や飼料用米、はくさい、加工キャベツの生産を安定するため、研修会の開催又は技術実証ほの設置により収量向上を図り、低収量要因を究明するとともに次期対策を提案した。
- ③ モデル法人の育成
経営体質強化を図るため経営計画作成を2法人に提案し、法人内の話し合いを促進した。

4 今後の普及活動に向けて

リストアップした集落へ法人化検討を啓発することにより法人設立を推進する。
また、意見交換会のコーディネートにより法人間連携の取組を促進し、生産品目の技術改善とモデル法人育成の実績を波及することにより法人経営の安定を支援する。